

報道機関各位

熊本大学

熊本大学キャンパスミュージアム企画展

## 「恐竜化石コラボ展

-熊本大学による調査・発掘と博物館の立ち上げ-」 開催のお知らせ

熊本大学では、地質学分野や古生物学分野のフィールドワークを中心とした調査・研究を進めています。特に九州には、中生代白亜紀～新生代古第三紀の地層が、広く分布しているため、恐竜や哺乳類などの発掘調査や当該分野の研究で多くの成果を挙げてきました。

これらの成果と教育学的な活動および啓蒙事業が、御船町恐竜博物館や御所浦白亜紀資料館、薩摩川内市甕ミュージアム恐竜化石等準備室（通称：甕ミュージアム）、などの熊本県内の施設や日本各地の博物館の展示作成などに繋がり、現在では当該分野の研究や教育面だけでなく、九州の観光業や地域の活性化にも貢献しています。

本学のキャンパスミュージアム構想が進む中で、2024年3月に御所浦白亜紀資料館が「天草市立御所浦恐竜の島博物館」としてリニューアルオープン、2025年4月に薩摩川内市立甕ミュージアムの開館が決定したことから、これらの熊本大学とゆかりのある自然史系博物館とのコラボ展が開催される運びとなりました。

御船町恐竜博物館からは、ティラノサウルス類の歯や獣脚類の四肢骨、甕ミュージアムからは、獣脚類や竜脚類恐竜の歯、日本では初めての報告となった角竜（ケラトプス科）の歯、上甕島の白亜紀末期（マーストリヒチアン期）の地層から発見された獣脚類恐竜の歯や「日本列島最後の恐竜」として注目されている国内最大級の鳥脚類恐竜の大腿骨など、御所浦白亜紀資料館からは、古第三紀の哺乳類であるコリフォドン類の化石などが展示されます。

今回、会場となる化学実験場は、通常は公開されていない重要文化財の建物です。ぜひこの機会にお越しください。

12月2・3日には、国立科学博物館副館長の真鍋真先生の講演会も予定しております。広く一般の方へお知らせいたくとともに、当日の取材方、よろしくお願ひいたします。

### 記

【開催期間】令和5年11月1日（水）～12月20日（水）

【開館時間】10：00～16：00 火曜日休館

【場 所】熊本大学化学実験場（熊本市中央区黒髪2丁目40番1号）

【対 象】一般の方（興味がある方はどなたでも）

（申込不要・入場無料）

※詳しくは別紙チラシをご覧ください。

【お問い合わせ先】

熊本大学社会共創推進課

TEL：096-342-2047



「御所浦恐竜の島博物館」として  
2024年3月リニューアルオープン

御所浦白亜紀資料館

御船町恐竜博物館



がんばる熊大生!

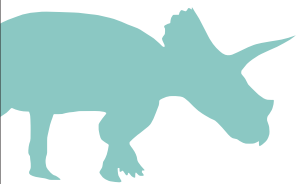


こしき  
館ミュージアム準備室

熊本大学による調査・発掘と  
博物館の立ち上げ

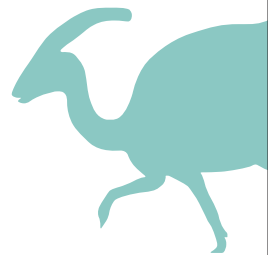
入場無料 / 事前申込不要

Join us!



# 恐竜化石 コラボ展

m  
Campus  
Museum



2023

11.1-12.20

WED

WED

□開館時間 10:00~16:00 [火曜休館]

熊本大学化学実験場 会期中は限定公開!

会場は熊本大学黒髪地区にある明治時代の建造物で「重要文化財」

12月2日(土)・3日(日)には講演会を開催します。▶裏面へ



- 主催 熊本大学キャンパスミュージアム推進室  
熊本大学理学部
- 共催 御船町恐竜博物館、天草市立御所浦白亜紀資料館  
薩摩川内市立館ミュージアム準備室、五高記念館

熊本大学キャンパスミュージアム推進室  
<https://museum.kumamoto-u.ac.jp/>  
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号  
TEL 096-342-2864  
(社会共創推進課 TEL 096-342-2047)  
e-mail: museum@jimu.kumamoto-u.ac.jp



Webサイト

イラスト: 山本 匠 (ハドロサウルス類の生体復元画) ©Takumi Yamamoto

# 恐竜化石コラボ展

熊本大学による調査・発掘と  
博物館の立ち上げ

注意) 参加希望の講演会ごとに  
専用QRコードからお申し込みください!

2023

12.2 SAT

「絵本から始める最新恐竜学」

14:00 - 16:00 (13:00 受付開始)

会場 / 全学教育棟 C 棟 C301 (講義室)

定員 / 200 名 (要申込・先着順)

12.3 SUN

「進歩する恐竜学

明治時代から現代、そして近未来」

① 10:00 - 12:00 (9:30 受付開始)

② 14:00 - 16:00 (13:30 受付開始)

会場 / 化学実験場内の階段教室

定員 / 各 50 名 (要申込・先着順)

特別企画



まなべまこと  
真鍋真先生

photo: © 与田松市

1959年、東京生まれ。国立科学博物館・副館長、研究調整役。横浜国立大学教育学部卒業、米イェール大学大学院修士課程修了、英ブリストル大学大学院博士課程修了。博士(理学)。1994年から国立科学博物館に勤務し、恐竜などの中生代の爬虫類と鳥類の進化や、鳥類以外の恐竜が姿を消したK/Pg境界の大量絶滅などを主な研究テーマとしている。群馬県立自然史博物館・特別館長を兼任。「恐竜博2023」、「恐竜博2019」などの博物館展示の監修多数。主な著書に『真鍋先生の恐竜教室』『恐竜学』など、恐竜の図鑑の監修など多数。



12.2



12.3 ①



12.3 ②



参加無料 / 要申込 (先着順・11月15日締切)

# Join us!

## 御船町恐竜博物館 (熊本県御船町)

御船層群から発見された貴重な化石や世界中から集められた恐竜の全身骨格など、約850点が展示されています。迫力のある恐竜の骨格群や、博物館の役割を実感できる見学可能なバックヤード「オープンラボ」は必見です。



## 御所浦白亜紀資料館 (熊本県天草市御所浦町)

「御所浦恐竜の島博物館」として2024(令和6)年3月20日にリニューアルオープンします。博物館では、天草の化石や天草の自然に関する多くの標本ほか、恐竜などの複製骨格標本を展示予定です。どうぞ期待!



## 甌ミュージアム準備室 (鹿児島県薩摩川内市)

「日本列島最後の恐竜」として白亜紀末期マーストリヒアン期の地層から多数の化石が発見されています。2025(令和7)年4月に「甌ミュージアム」としてオープンします。



## 黒髪北地区

12/3講演会場 (階段教室)



化学実験場 [重要文化財 / 限定公開]

